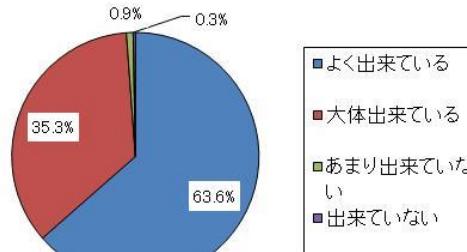


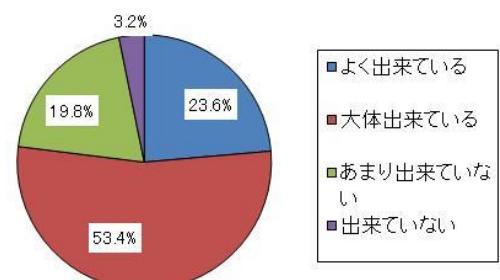
# 平成29年度〈前期〉保護者アンケートより

平成29年9月12日  
京都市立下鳥羽小学校  
校長 井上 宣之

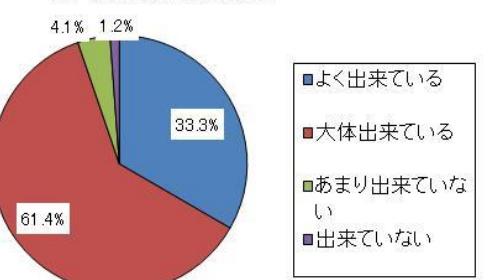
①子どもたちは、学校生活を楽しんでいる。



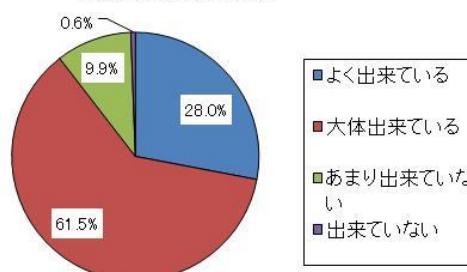
⑤子どもたちは、家庭学習の習慣が身についている。



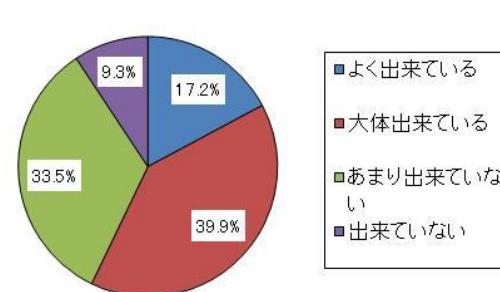
⑨学校・学年・学級により、下鳥羽小サイトなどから、学校や子どもの様子がわかる。



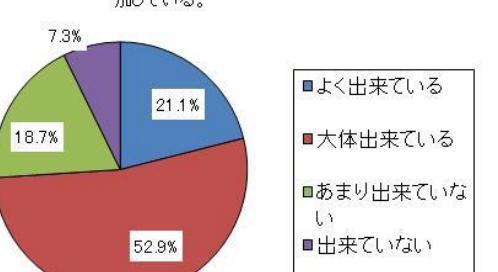
②子どもたちは、基礎・基本(読む・書く・計算する・考える)の学力がついている。



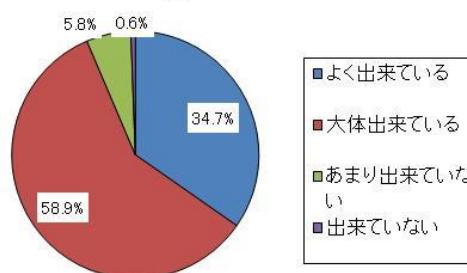
⑥子どもたちは、読書する習慣が身についている。



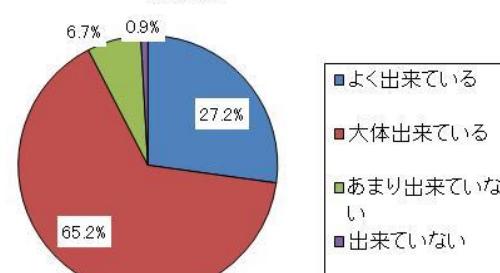
⑩学校行事やPTA活動・学校運営協議会の活動に参加している。



③子どもたちは、思いやりのあるやさしい心が育っている。

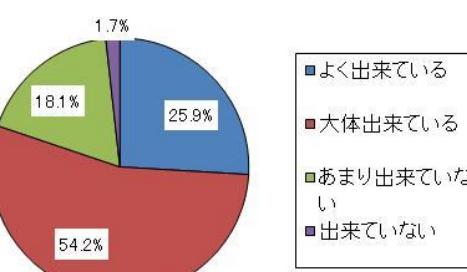


⑦学校は、いじめのない学校・学年・学級づくりに努力している。

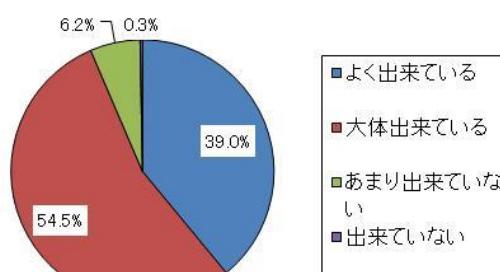


**本校教育活動の今年度3か月間の成果として、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を肯定的回答としてとらえ、検討いたしました。**

④子どもたちは、気持ちのよいあいさつができる。



⑧学校は、相談しやすく親身になって対応している。



**3 「自由記述」について(一部抜粋)** ※ご記入いただきましたご意見については確認し、見直しや改善に役立てていきます。  
○入学したころは、体力がなくすぐに疲れしていましたが、担任の先生の細やかな配慮や報告によって少しずつ体力も向上しているようです。ありがとうございます。

○子どもが熱を出し、学校から連絡が来ました。仕事(研修)の為に17:00頃まで迎えに行けなかったのですが、保健室にて休ませていただけて有難かったです。

○学校での学習にしっかりと取り組めている様子(ノートなどを見て)なので安心しています。

○担任の先生とあまり話す機会はありませんが、連絡帳に不安な内容を書いた時に丁寧に返答していただいたり、日常の子どもの頑張りを書いてくださったりと心が温まりました。子どものことをよくみていてくれて安心しました。

○何かあった時、担任の先生はしっかりとお話を聞いてくださるので大変助かっています。

○学習面で分からぬところは、放課後に先生に教えてもらっているそうで感謝しています。

●ホームページの更新が少なく、様子が分かりにくいので、お忙しい中ですがアップしていただきたいと思います。

●土曜クラブの予定が体育館壁面の掲示板だけでは分かりづらく、特に低学年では子どもが行って休講で帰ってきたことがありました。

●集団登校で通えていない児童が多いように感じます。

●宿題を朝に学校でしている子どもが何人かいることを聞きます。学校でも家でやることを徹底して言っていただけだと思います。

●担任の先生が教室を離れる時間に、読書の時間もよいが、それ以外の活用できる過ごし方があればと思います。

●理由を聞いてもらはず、先生に指導されることがあったようです。まずは話を聞いていただきたいです。

●スマートの使用について、しっかり教育してください。家庭でも注意をしていますが、見えない部分があります。よろしくお願ひします。

●PTAと学校とのつながりがほかの学校に比べて少ない。もう少し、つながりをもって行うべきだと思います。

●部活動バレー、ボールでは人数が多いため、活動時間が少ないのに、活動時間の確保を検討してほしい。

●あいさつが去年おとしに比べあまりできていないように感じます。

《運営協議会理事会での話より》

「読書の習慣化」については、学校側の環境整備や読書時間の確保、地域ボランティアの方々の協力に加え、家庭で本と向きあえる時間を少しずつでも親子で作っていくと良いのではないかというご意見をいただきました。

## 1 成果

多くの項目で、肯定的な回答(70~90%の評価)「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」をいただきました。特に、「1 子どもたちは、学校生活を楽しんでいる。」について肯定的回答 98.9%でした。「2 子どもたちは、基礎・基本の学力がついている。」では、89.5%、「3 子どもたちは、思いやりのあるやさしい心が育っている。」では、93.6%の肯定的回答をいただきました。「4 子どもたちは気持ちのよいあいさつができる。」については、80.1%の評価をいただきました。また、「9 学校・学年・学級により、下鳥羽小サイトなどから、学校や子どもの様子が分かる。」では、肯定的回答が 94.7%でした。下鳥羽教育推進に対して、積極的にご協力いただき、学校とご家庭との連携がとれた結果だと思います。

## 2 課題

### 「6 子どもは、すすんで読書する習慣が身についている。」について

肯定的回答の合計が、57.1% (平成28年度前期 46.8%) でした。ここ数年のアンケート結果からみても、50%前後でほとんど横ばい状態です。本校の日常的な取組として、毎朝始業前の10分間の朝読書時間の設定、年2回の読書週間の実施、読書ボランティアによる月1回の読み聞かせ、児童会活動における高学年児童が低学年児童へ読み聞かせをするなど、読書に関する様々な取組が学校だけでなく、地域・保護者の方々のご協力により実施されています。

児童アンケート「9 自分から進んで、読書をしている。」では、75.9%の児童が進んで読書をしていると回答しています。読書については、アンケート結果において保護者と児童のとらえ方の差が大きかった項目です。引き続き、さらなる読書活動充実のために、学校で適切に読書指導をするとともに、各ご家庭でも、読書活動の充実を図っていただければと考えています。